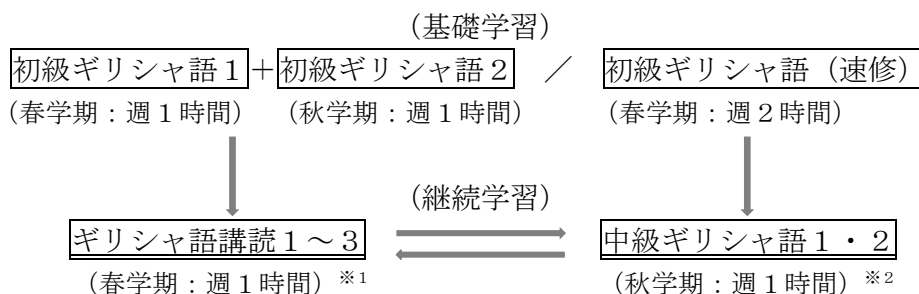


古典語（ギリシャ語）学習について



※¹ 1～3は3年周期で一科目ずつ開講。1～3でレベルの違いはありません。

※² 1・2は隔年開講。1・2でレベルの違いはありません。

- ・ギリシャ語の学習は**基礎学習**と**継続学習**に分けられます。
- ・学習の道筋は次の二通りが考えられます。
 - (1) 「初級ギリシャ語 1」と「初級ギリシャ語 2」を1年かけて学び、次年度以降、春学期は「ギリシャ語講読 1～3」のいずれか（履修年度に開講されている番号）を、秋学期は「中級ギリシャ語 1・2」のいずれか（履修年度に開講されている番号）を履修し、講読の学習を継続する。
 - (2) 週 2 時間の「初級ギリシャ語 (速修)」を選択し、春学期で文法事項を一通り学び終え、秋学期に「中級ギリシャ語 1・2」のいずれか（履修年度に開講されている番号）を履修する。次年度以降は、(1)と同様、春学期に「ギリシャ語講読 1～3」のいずれかを、秋学期に「中級ギリシャ語 1・2」の一方（前年度とは異なる番号）を履修し、講読の学習を継続する。
- ・「中級ギリシャ語 1・2」、「ギリシャ語講読 1～3」では、履修者のギリシャ語学習歴によって学力差が想定されますが、担当教員ができる限りサポートします。
- ・「中級ギリシャ語 1・2」と「ギリシャ語講読 1～3」はどちらも講読の授業で、レベルの違いはありません。「中級ギリシャ語 1・2」は、「初級ギリシャ語 (速修)」で集中的に文法知識を身につけた履修者が続けて読解を学ぶために履修する科目であると同時に、上記 (1) の経路で学習し、「初級ギリシャ語 1・2」(春・秋学期) から「ギリシャ語講読 1～3」(春学期) に進んだ人が秋学期に継続して講読を学ぶために履修する科目でもあります（「中級ギリシャ語 1・2」と「ギリシャ語講読 1～3」を履修する順序は二つの学習経路によって異なります）。
- ・語学学習は継続することが必要と言われますが、古典語の読解力を身につけるには、学習を継続し、読解の経験を積むことが不可欠です。継続して講読の授業を履修できるように、講読の授業には1～3の番号を設定し、3年周期で一科目ずつ開講しています。
- ・ギリシャ語学習に関する相談は、次のアドレスまでお問い合わせください。科目履修、独習その他、なるべく有益な助言をできるようにします。

tokuyam@waseda.jp (文学学術院教員 宮城 徳也)